

令和3年度第2回 金沢市地球温暖化対策推進協議会

令和3年11月16日(火) 15:00~16:30
金沢市役所第二本庁舎3階2301会議室

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) 報告事項

- 1) 金沢市の温室効果ガス排出量(2019(R1)年度 速報値)について 【資料1】
- 2) 「金沢市低炭素都市づくり行動計画[改定版]」の点検・評価結果について
【資料2】
- 3) 「金沢市再生可能エネルギー導入プラン」の点検・評価結果について 【資料3】
- 4) 令和3年度啓発事業について 【資料4】

(2) 審議事項

- 金沢市地球温暖化対策推進協議会令和4年度事業案について 【資料5】

4. 閉会

金沢市地球温暖化対策推進協議会 委員名簿

令和3年4月1日現在
(順不同、敬称略)

氏名	所属
佐藤 清和	金沢大学教授
神 和成	石川県木造住宅協会副会長
新田 英治	北陸電力株式会社石川支店総務部長
瀬戸 和夫	金沢商工会議所環境問題委員会委員長
多田 幸生	金沢大学教授
中山 晶一郎	金沢大学教授
能木場 由紀子	金沢市校下婦人会連絡協議会会長
道脇 香里	金沢エコライフくらぶ
宮井 利之	金沢エコ推進事業者ネットワーク代表運営委員
宮下 智裕	金沢工業大学准教授
須崎 秀人	市民（公募）
野吾 奈穂子	市民（公募）

(12名)

金沢市の温室効果ガス排出量（2019(R1)年度 速報値）

資料1

1 金沢市の温室効果ガス排出量

(単位：千tCO₂)

	2013年度 (H25) (基準年)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)				
			前年比	基準年比	構成比 (CO ₂ 内訳)		
二酸化炭素	産業部門	482	448	431	-3.9%	-10.6%	14.7%
	家庭部門	971	815	724	-11.1%	-25.4%	24.6%
	業務部門	1,049	962	881	-8.4%	-16.0%	30.0%
	運輸部門	894	847	817	-3.6%	-8.6%	27.8%
	廃棄物部門	75	90	86	-4.8%	15.2%	2.9%
	計	3,469	3,162	2,939	-7.1%	-15.3%	100.0%
メタン	15	18	16	-8.1%	7.6%		
一酸化二窒素	48	46	46	-1.3%	-5.5%		
ハイドロフルオロカーボン類	4	5	5	0.0%	15.3%		
合計	3,537	3,231	3,005	-7.0%	-15.0%		

(注1) 値は、今後、各種統計データの年報値の修正、算定方法の見直し等により変更される場合があります。

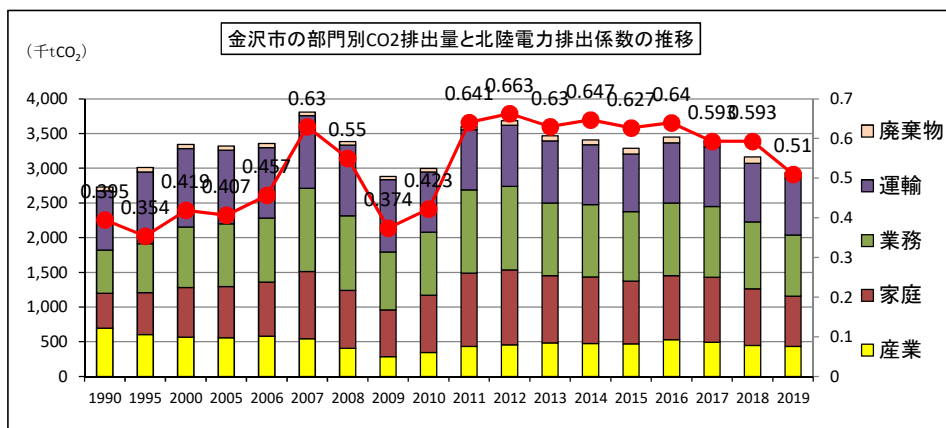
(注2) 小数点以下の数字を四捨五入して整数表示しているため、合計値が合わない場合があります。

※「2 金沢市のエネルギー消費量」表も同様。

2 金沢市のエネルギー消費量

(単位：10¹²J = TJ)

	2013年度 (H25) (基準年)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)			
			前年比	基準年比	構成比	
産業部門	4,087	4,165	4,008	-3.8%	-1.9%	12.9%
家庭部門	8,090	7,686	6,834	-11.1%	-15.5%	22.1%
業務部門	8,674	8,530	8,178	-4.1%	-5.7%	26.4%
運輸部門	13,110	12,428	11,972	-3.7%	-8.7%	38.6%
合計	33,961	32,809	30,992	-5.5%	-8.7%	100.0%



■基準年度からの温室効果ガス排出量減少の主な理由

①電力排出係数の減少

<参考>電源別発電電力量構成比(北陸電力)

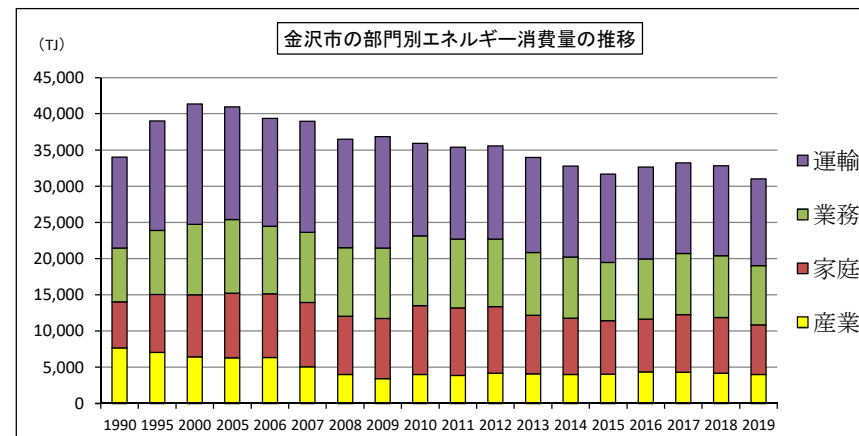
2014年度(参考) 水力 25.0%、新エネルギー等 2.0%

2019年度 水力 28.0%、新エネルギー等 6.0%

出典:「北陸電力グループ総合報告書2015、2020」

②エネルギー消費量の減少

・各部門について、基準年度に比べてエネルギー消費量が減少(減少理由は右記のとおり)



■基準年度からのエネルギー消費量減少の主な理由

①暖冬等による家庭部門におけるエネルギー消費量の減少

<参考>金沢市における気象データ

2013年度 平均気温…7月:27.2℃、8月:28.2℃、1月:3.9℃、2月:3.5℃、最深積雪:16cm

2018年度 平均気温…7月:28.3℃、8月:28.2℃、1月:4.4℃、2月:5.4℃、最深積雪:7cm

2019年度 平均気温…7月:25.9℃、8月:28.2℃、1月:6.7℃、2月:6.3℃、最深積雪:3cm

出典:気象庁資料

②低燃費車導入拡大による運輸部門におけるエネルギー消費量の減少

<参考>

・北陸信越地方運輸局管内におけるハイブリッド(旅客乗用)の走行キロ

2013年度:2,230,435km → 2019年度:5,859,375km

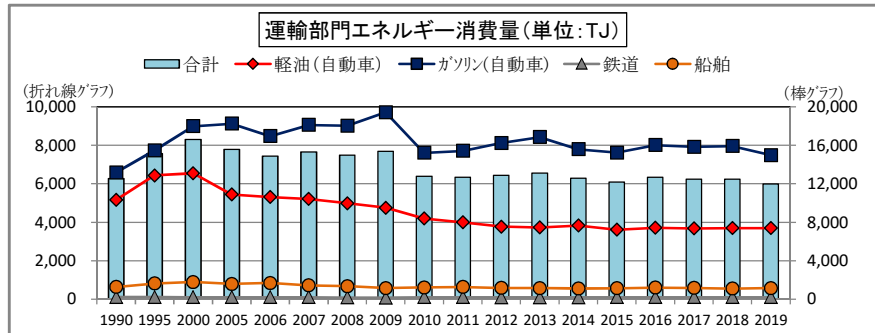
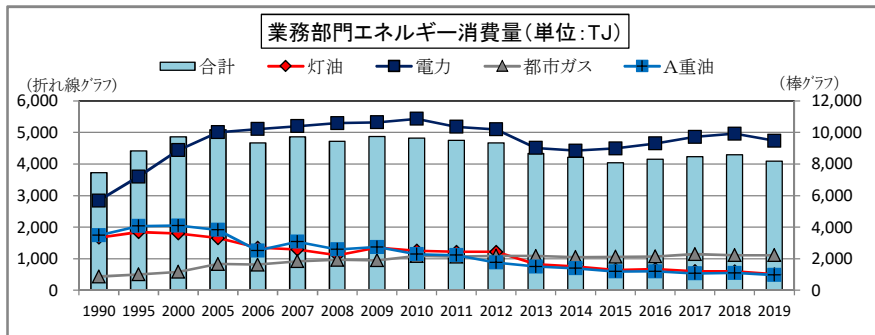
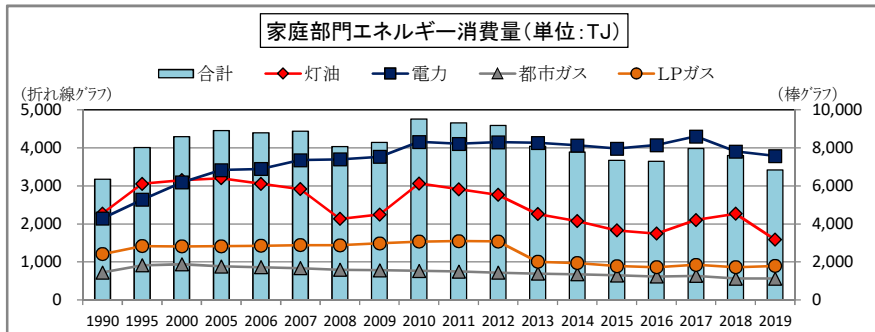
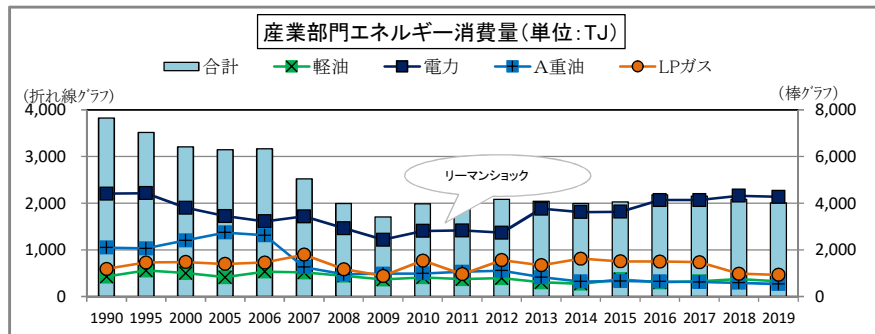
・市内におけるハイブリッド自動車登録台数

2013年:17,314台 → 2019年:43,357台

出典:「自動車燃料消費量調査」(国土交通省)、一般財団法人自動車検査登録情報協会照会結果

・市内における電気自動車登録台数

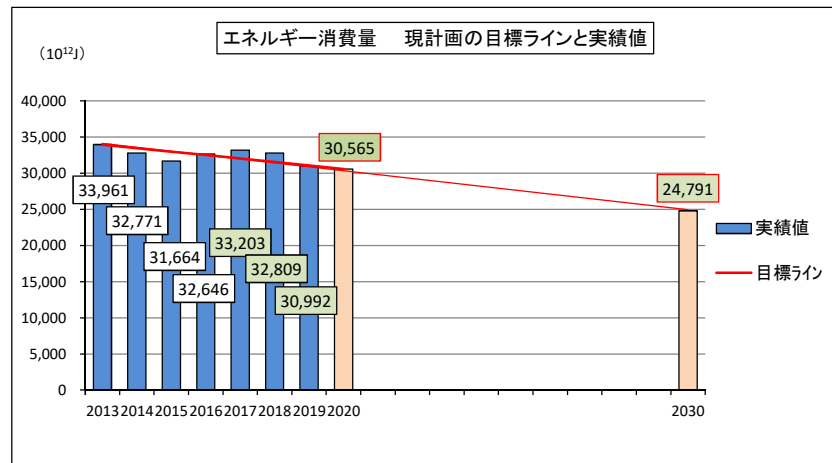
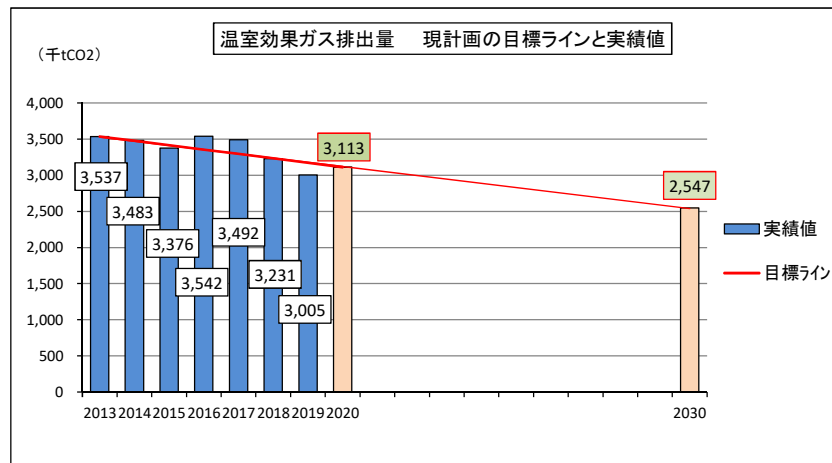
2013年:445台 → 2019年:874台 出典:市内自動車販売会社照会結果



3 削減目標について

■金沢市低炭素都市づくり行動計画[改定版]の削減目標

温室効果ガス排出量	短期目標：2020年度	2013年度比	▲12%
	中期目標：2030年度	2013年度比	▲28%
エネルギー消費量	短期目標：2020年度	2013年度比	▲10%
	中期目標：2030年度	2013年度比	▲27%



金沢市低炭素都市づくり行動計画【改定版】の点検・評価手順

1 取組内容や関連指標の達成状況について基本方針及び各施策ごとに事務局で評価を行う

<各施策の評価項目について>

評価項目	評価内容	評価判断材料
単年度評価	各施策の取組内容について、年次報告書（案）の実績をもとに、これまでの取組みや前年度の実績と比較して事業内容の充実度の変化で評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> 年次報告書（案）の内容 主要取組みの進捗状況 その他取組みの充実度
累積評価	金沢市低炭素都市づくり行動計画【改定版】に掲げる施策の目標値（関連指標）の達成率で評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> 関連指標達成率 部会基準達成率（※）

※ 部会基準の設定について（許容値評価の導入）

現状値と目標値（関連指標）の乖離が大きい場合や評価が困難である場合は、部会で個別に目標値を設定する

単年度評価

◎：内容がこれまでや前年度の取組み内容と比較してさらに拡充している場合
○：内容がこれまでや前年度の取組み内容と同様に事業が進んでいる場合
△：内容がこれまでや前年度の取組み内容よりも規模が縮小したが事業が進んでいる場合
×：当該年度に事業の進展が全くなかった場合
(事業の進展はないが従前の取組を継続している場合は「△」とする)

累積評価

◎：短期目標年度の目標値を上回るペースで事業が進んでいる場合（達成率が概ねA以上）
○：目標値の達成に向けて概ね順調に施策に取り組んでいる場合（達成率が概ねB以上）
△：目標値の達成には届かないが、概ね施策に取り組んでいる場合（達成率が概ねC以上）
×：施策がほとんど実施されていない場合（達成率が概ねD以下）
(達成率が概ねDであっても部会で設定した目標基準を達成している場合は評価を「△」とする)

(達成率の評価基準)

S： 達成率が110%を超えている
A： 90% < 達成率 ≤ 110%
B： 70% < 達成率 ≤ 90%
C： 30% < 達成率 ≤ 70%
D： 達成率が30%未満

2 事務局で評価した基本方針ごとの各施策を部会で再評価する

※評価の観点は上記1のとおり

3 評価した施策について部会で協議を行う（必要がある場合は部会で目標を設定する）

金沢市低炭素都市づくり行動計画【改定版】施策進捗状況 評価シート

資料2-2

基本方針1 再生可能エネルギーの利用を推進し、限りある資源を有効に活用します

GHG削減目標(短期)73 千t-CO2

施策	主な構成事業(取組み)	これまでの実績	単年度評価		累積評価							部会評価	
			2020年度	事務局評価	評価指標 (■基本指標 □部会基準)	計画策定時(2013)	実績(2020)	目標(2020)	単位	達成率	事務局評価	単年度	累積
1-1	小水力発電設備設置の促進	・小水力発電設備を設置 ・末浄水場42kW(H24) ・本多公園1kW(H25) ・新辰巳発電所200kW(H26) ・城北水質管理センター2kW(H27)	継続稼働中 新規設置なし	△	■水力発電の導入規模	42	245	498	kW	C	△	△	△
1-2	バイオマスの有効活用	・木質バイオマスストーブ設置補助金 ・林地残材混焼によるバイオマス発電 ・木質バイオマスストーブ補助金:9件(H28),9件(H29),10件(H30),7件(R1) ・林地残材混焼発電(H25~) ・金沢プールへ木質ペレットボイラーを設置(H28)	・木質バイオマスストーブ補助:6件 ・林地残材:焼却量300t	○	■公共施設へペレットボイラー導入 ■ペレットストーブ補助件数(累積) ■林地残材年間焼却量	0 81 539	1 154 300	4 190 500	件 件 t/年	D B C	△	○	△
1-3	景観に配慮した太陽光発電設備の設置	・住宅用太陽光発電設備の設置に対して助成 ・メガソーラーの設置 ・太陽光発電の設置 ・太陽光発電補助金:88件(H28),67件(H29),72件(H30),117件(R1) ・住宅用:累積3,559件(H28),3,944件(H29),4,236件(H30),4,747件(R1) ・産業用:累積688件(H28),703件(H29),724件(H30),767件(R1) ・民間大型ソーラー:角間町、釣部町、大場町、東長江町 等	・太陽光発電補助金:143件 ・住宅用:累積4,993件(246件増) ・産業用:累積765件(2件減)	○	■住宅用太陽光発電設置件数 ■大型ソーラー設置件数 □太陽光発電補助件数(H28~)	2,362 2 -	4,993 7 487	16,000 2 750	件 件 件	C S C	○	○	○
1-4	太陽熱利用システムの設置	・補助金制度の検討 ・補助制度なし	・補助制度なし	×	■太陽熱システム設置補助	0	0	125	件	D	×	×	×
1-5	再生可能エネルギーの利用促進	・再生可能エネルギー導入プランにおけるモデル事業の拡充 ・市民参加型の市民発電所を設置 ・新辰巳発電所の発電容量を200kW増加(H26) ・次世代エネルギーパーク追加:1施設(H27),2施設(H28) ・エネルギーパーク施設見学バスツアーの実施(H28~) ・市民発電所の新規稼働:2件(H25),1件(H27) ・小水力発電全国大会in金沢:(H28) ・再エネ導入研究会の開催(H28) ・省エネ住宅、地中熱について調査研究(H30)	・エネルギーパーク施設見学バスツアーは実施せず(コロナ対応) ・上寺津発電所の発電容量増加に向けた工事H30~R2(16,200kW→16,500kW) ・臨海水質管理センターを次世代エネルギーパークに追加	○	■市民発電所の設置件数 ■次世代エネルギーパーク施設数	0 16(2014)	3 21	3 20	件 箇所	A A	◎	○	◎
1-6	公共施設への再生可能エネルギー導入	・防災拠点等へ太陽光発電設備と蓄電池を設置 ・公共施設への太陽光発電導入件数:2件(H25),3件(H27),3件(H28) ・城北水質管理センターの消化ガス発電の導入200kW(H25) ・戸室リサイクルプラザの太陽光発電設備を修繕(H30) ・臨海水質管理センター消化ガス発電の導入360kW(R1)	継続稼働中 新規設置なし	△	■公共施設への太陽光発電等設置件数 ■公共施設への消化ガス発電の導入規模 ■公共施設への太陽熱・地中熱導入	13 0 1	8 560 1	12 200 2	件 kW 件	C S C	○	△	○

基本方針2 日常生活や事業活動におけるエネルギーの適正な利用を推進し、環境負荷の少ないエコライフ、エコオフィスへの転換を図ります

GHG削減目標(短期)191 千t-CO2

2-1	日常生活における省エネルギー行動の推進	・省エネ行動の推進 ・省エネエコポイント制度の検討 ・HEMS設置補助金 ・出前講座 H30:13回、講師派遣8回 R1:13回、講師派遣6回 ・かなざわエコフェスタ2018:5,500人来場 ・かなざわエコフェスタ2019:6,000人来場 ・環境にやさしい買い物キャンペーン(店頭イベント4回開催) ・節電エコポイント事業登録:1,497世帯(H30),2,079世帯(R1) ・HEMS補助件数:70件(H29),73件(H30)126件(R1)	・出前講座:3回、講師派遣:7回 ・かなざわエコアート展の実施(コロナ対応) ・買い物キャンペーンの実施(0回)(コロナ対応) ・エコポイント事業:3,149世帯 ・HEMS補助金:148件	○	■アンケート回答者による省エネ行動率 (2020年度e-モニターアンケート結果より)	-	23	50	%	C	○	○	○
2-2	事業活動における省エネルギー行動の推進	・省エネ行動の推進 ・店舗、オフィスビル等における省エネ推進の仕組みを構築 ・金沢エコ推進事業者ネットワーク:研修会7回、延べ140社参加(H30),研修会6回、延べ122社参加(R1) ・環境にやさしい買い物推進店:424店(H30),408店(R1) ・デマンドコントロール補助金:10件(H29),2件(H30),0件(R1) ・環境カウンセラー派遣:3件(H29),2件(H30),2件(R1)	・研修会0回(コロナ対応) ・買い物推進店418店 ・デマンドコントロールシステム:0件 ・環境カウンセラー派遣:0件(コロナ対応)	△	■デマンドコントロール補助件数(累積) ■アンケート回答者による省エネ行動率	0 -	27 未集計	25 25	件 %	A	◎	△	◎

金沢市低炭素都市づくり行動計画【改定版】施策進捗状況 評価シート

施策	主な構成事業 (取組み)	これまでの実績	単年度評価		累積評価							部会評価	
			2020年度	事務局 評価	評価指標 (■基本指標 □部会基準)	計画策定 時(2013)	実績 (2020)	目標 (2020)	単位	達成 率	事務局 評価	単年度	累積
2-3	省エネ住宅の設置や省エネ機器の導入の推進	・住宅用の高効率給湯器、燃料電池、蓄電池の設置補助金 ・省エネ家電の導入	・エネファーム補助金:5件(H29),14件(H30),17件(R1) ・ハイブリッド給湯器補助金:47件(H29),44件(H30),37件(R1) ・蓄電池補助金:64件(H29),57件(H30),141件(R1)	・エネファーム補助金:16件 ・ハイブリッド給湯器補助金:32件 ・蓄電池補助金:99件	○	■産業・家庭・業務部門のエネルギー削減量(2013年度比) (2019年度速報値)	—	1,831	2,200	TJ/年	B	○	○
2-4	環境教育・環境学習の充実と環境リーダーの育成	・小中学校における環境教育、環境学習 ・大学や地域との協働による環境教育・環境学習の実施	・ユネスコスクール全校79校の認定が完了(H30) ・金沢学校エコプロジェクト:4校(H29),10校(H30),12校(R1) ・小学生夏休み環境講座 ・グリーンコンシューマーの育成事業(H26~):これまで6商店街のエコショップマップを製作、グリーンコンシューマー育成講座の開催	・学校エコプロジェクト新規7校 ・グリーンコンシューマー育成講座:全3回(うち2回は動画)(コロナ対応) ・オンラインE~COとクッキング講座全3回(コロナ対応) ・金沢美術工芸大学の学生と協力して「寺町台商興会エコショップMAP」を製作	◎	■金沢学校エコプロジェクト小中学校数	18	57	40	校	S	◎	◎
2-5	地産地消の推進	・地産地消の推進	・公共建築物等木材利用促進事業:2校、1施設(H30),2校、1施設(R1) ・地場農産物の地場食材として小学校や保育所へ提供 ・直売所開設支援:3件(H28),2件(H29),2件(H30) ・木の家奨励事業:13,433本(H28),16,889本(H29),13,292本(H30)	・公共建築物等木材利用:2校、1施設 ・地場食材:6小学校、1保育所 ・直売所:2件 ・木の家奨励事業:11,645本	○	■金沢産スギ柱の累積使用本数(木の家奨励事業)	135,910 (2014)	221,216	224,000	本	A	◎	◎
2-6	公共施設への省エネ機器導入拡大と職員の省エネ行動徹底	・職員の省エネ行動 ・省エネ改修の実施と省エネ設備の導入	・庁内環境情報誌の発行 ・グリーン購入:93.0%(H29),93.5%(H30),91.1%(R1) ・公共施設へのLED照明導入:1,135基(H29),6,084基(H30)5,004基(R1) ・市内全域において防犯灯をLEDへ一斉更新(H29)	・グリーン購入:91.4% ・LED照明導入:新規1,518基 ・金沢市体育施設等LED化ESCO事業の委託契約を締結(R3に水銀灯3,000基をLED化)	◎	□公共施設へのLED照明設置基数(H28~)	—	16,432	10,000	基	S	◎	◎

基本方針3 公共交通の利用促進と快適に歩ける金沢らしいまちづくりの推進を図り、人と環境にやさしい交通環境を築きます

GHG削減目標(短期)148 千t-CO₂

3-1	公共交通の利便性向上	・新しい交通システムの導入着手 ・パーク・アンド・ライドの推進 ・バス待ち環境の向上	・新しい交通システム検討会(H28),新しい交通システムに必要な平面空間や地下埋設物等の現況調査の実施(H30) ・金沢市都心軸交通環境整備検討委員会(H29) ・パーク・アンド・ライド利用者数:186人(H29),206人(H30),195人(R1) ・ノンステップバス購入助成:24台(H28),24台(H29),5台(H30),3台(R1) ・バス停上屋の整備:1件(H29),1件(H30),0件(R1)	・パークアンドライド:214人 ・ノンステップバス:新規なし ・バス停上屋の整備:新規なし ・バス専用レーン時間帯拡大実験の実施	○	■市内の公共交通分担率 ■パーク・アンド・ライド利用者数	7.5 (2007)	8.79 (2018)	9 (2022)	%	A	○	○	
3-2	歩く人にやさしい環境の整備	・歩けるまちづくりの推進	・歩道整備(段差解消、フラット化及び誘導ブロック設置)、無電柱化 ・生活道路のライン表示等による歩行通行帯を確保 ・都心軸沿線にアートベンチを設置(H30)	・歩道整備:新規10箇所 ・無電柱化:新規4箇所 ・ライン表示等:新規2箇所	○							—	○	—
3-3	快適な自転車走行環境の創出	・「まちなか」利用促進 ・駐輪スペースの整備 ・自転車走行空間の整備	・まちなか利用者数:60,718人(H29),63,284人(H30),50,529人(R1) ・まちなか自転車利用環境向上計画の基本方針に沿って、自転車ルール・マナー検定等各種事業を実施 ・自転車通行環境整備 路:2.5km(H28),4.5km(H29),1.2km(H30),1.0km(R1)	・まちなか利用者103,785人 ・自転車道路:0.5km ・「まちなか」のリニューアルにより、自転車台数、サイクルポート数の増加及び利用可能時間の拡大	◎	■まちなかの歩行者・自転車発生トリップ	44,000 (2007)	未調査	46,000 (2022)	人/日	—	—	◎	—
3-4	マイカーから公共交通への利用転換の促進	・公共交通の利用促進	・交通まちづくり市民フォーラム、カーフリーデー開催 ・交通環境学習プログラム:市内全小学校3年生を対象として実施(R1) ・お帰り乗車券配布:4,592枚(H29),4,858枚(H30),5,298枚(R1)	・カーフリーデー開催 ・交通環境学習:全小学校3年生 ・お帰り乗車券:42,743枚配布 ・お帰り乗車券の期間拡大(年末年始→11/1~3/31の土日祝及び年末年始)	◎	■上記指標に含む	—	—	—	—	—	—	◎	—
3-5	まちなかへの過度なマイカー流入を抑制、まちなか定住、就業促進	・集約型の都市への転換推進 ・荷捌き駐車対策の実施 ・まちなか定住の促進	・荷捌き駐車場:月平均1,571台(H30),1,535台(R1) ・まちなか住宅補助金:56件(H29),90件(H30) ※R1.9まで ・中心市街地等への事業所の誘致:2件(H29),2件(H30) ※R1.9まで ・集約都市形成計画の策定(H28) ・都市計画マスタープラン2019の策定(R1) ・建築物の駐車施設における附置義務の緩和(R1.7条例改正)	・荷捌き駐車場:月平均1,026台 ・わがまち金沢住宅取得奨励金:75件	○	■まちなか区域の人口の年間社会動態	+22	-63	+30	人	D	×	○	×

2020年度金沢市エネルギー自給率について(確報値)

再生可能エネルギーによる発電量 基準年度 単位:千kWh(MWh)

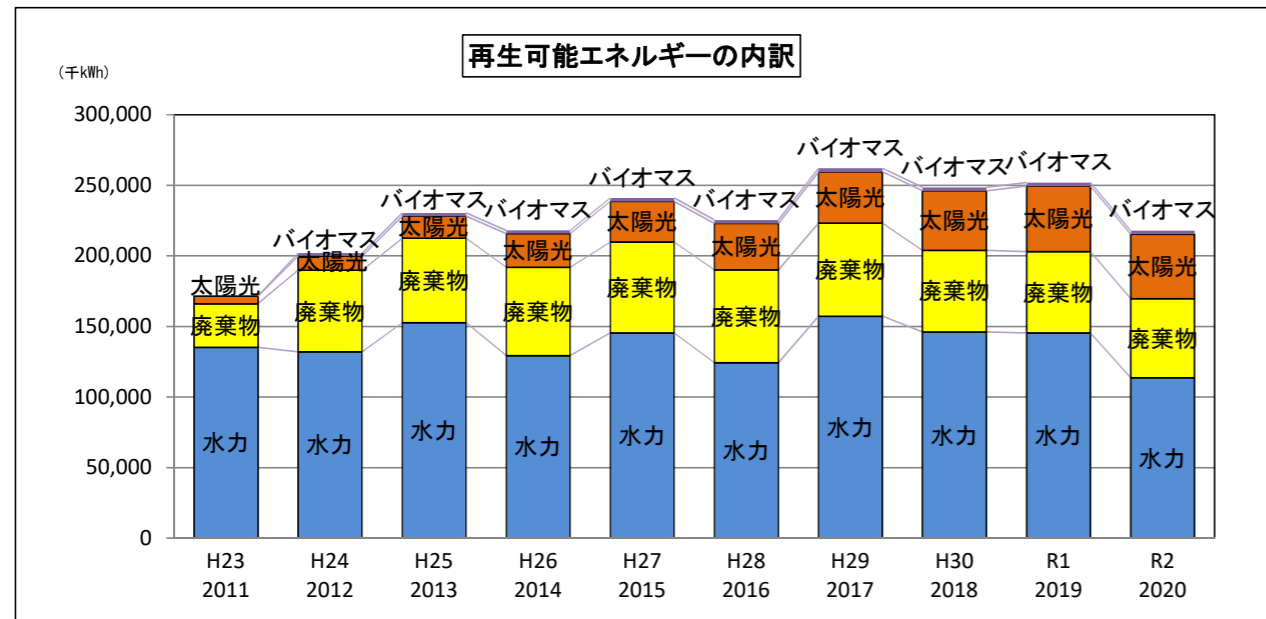
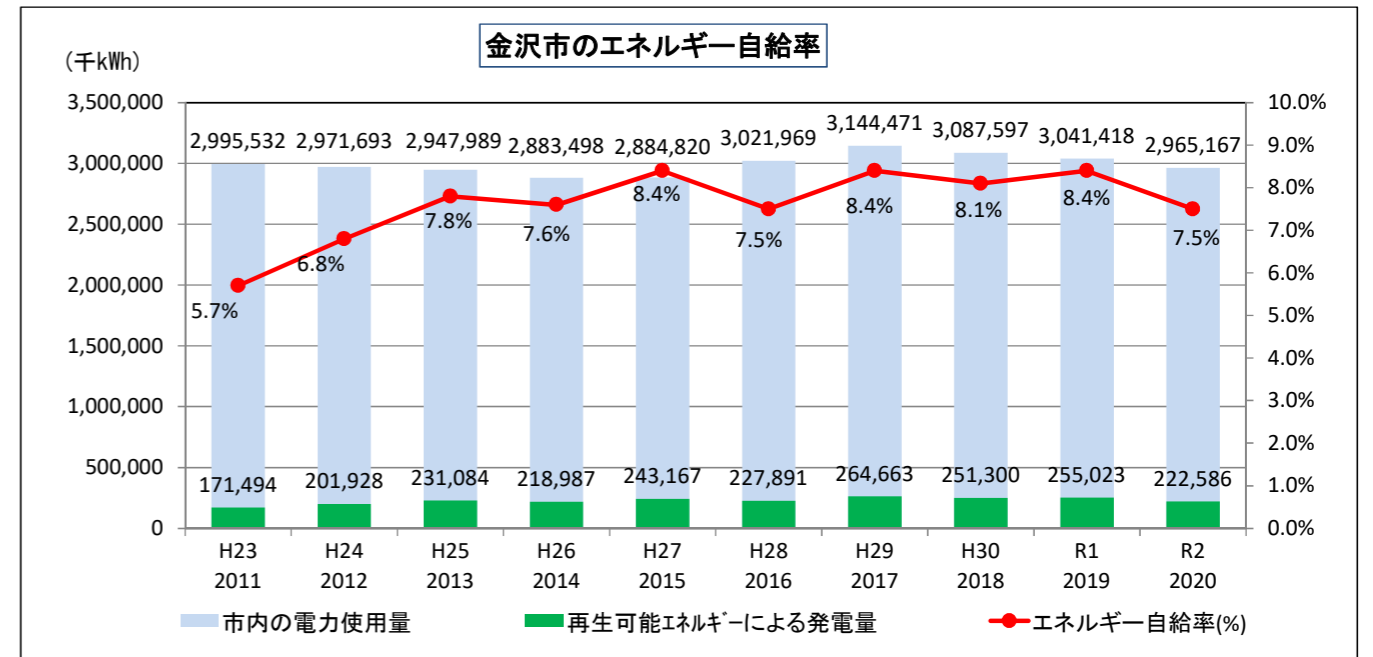
		H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	
再生可能エネルギー等による発電	市・モデル事業	水力発電事業	135,258	131,670	152,349	128,958	145,100	123,933	156,983	145,924	145,239	113,351
		(設備容量kW)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)	(33,030)
		廃棄物発電	30,846	57,825	59,924	62,618	64,443	65,797	65,920	57,736	57,574	56,121
		(設備容量kW)	(4,600)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)
		太陽光・小型風力発電	290	330	340	340	340	340	340	340	340	340
		(設備容量kW)	(306)	(346)	(353)	(353)	(353)	(353)	(353)	(353)	(353)	(353)
	小水力発電(末浄水場)		293	293	296	292	285	274	240	250	250	
	(設備容量kW)		(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	(42)	
	発電量 小計	166,394	190,118	212,906	192,212	210,175	190,355	223,517	204,240	203,403	170,062	
	モデル事業			560	990	2,120	2,467	2,558	2,647	2,998	4,748	
市事業計	166,394	190,118	213,466	193,202	212,295	192,822	226,075	206,887	206,401	174,810		
市民・事業者	太陽光発電(住宅)	4,800	7,100	8,900	10,700	12,200	14,000	16,200	17,700	20,300	21,300	
	(設備容量kW)	(5,075)	(7,480)	(9,356)	(11,253)	(12,873)	(14,747)	(17,105)	(18,635)	(21,334)	(22,406)	
	太陽光発電(事業所)	300	2,700	6,400	12,800	16,300	18,500	19,800	24,100	25,700	23,900	
	(設備容量kW)	(311)	(2,830)	(6,785)	(13,424)	(17,122)	(19,512)	(20,852)	(25,371)	(27,051)	(25,189)	
	バイオマス発電(厚川左岸)		2,010	2,319	2,285	2,372	2,569	2,588	2,613	2,622	2,576	
(設備容量kW)		(250)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)		
市民・事業者計	5,100	11,810	17,619	25,785	30,872	35,069	38,588	44,413	48,622	47,776		
合計	171,494	201,928	231,084	218,987	243,167	227,891	264,663	251,300	255,023	222,586		

エネルギー自給率 基準年度 単位:千kWh

	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020
市内の電力使用量	2,995,532	2,971,693	2,947,989	2,883,498	2,884,820	3,021,969	3,144,471	3,087,597	3,041,418	2,965,167
再生可能エネルギーによる発電量	171,494	201,928	231,084	218,987	243,167	227,891	264,663	251,300	255,023	222,586
エネルギー自給率(%)	5.7%	6.8%	7.8%	7.6%	8.4%	7.5%	8.4%	8.1%	8.4%	7.5%

*エネルギー自給率とは本市内の電力需要量に対する再生可能エネルギー等による発電量の割合をいう。

最終目標2020年度 10%



※1 上寺津発電所の大規模改修工事に伴う長期稼働停止により発電量減少(-31,888千kWh)

※2 下水汚泥消化ガス発電設備(臨海水質管理センター)の稼働開始等に伴い、発電量が増加(+1,750千kWh)

市内の電力使用量は若干の減少をみせたものの、再生可能エネルギーによる発電量が上寺津発電所の稼働停止により低い数値となり、エネルギー自給率は伸びなかった。

金沢市再生可能エネルギー導入プランの点検・評価について

◎導入完了
→稼働中
○導入に向けて進んでいる

△停滞している
▲事業化未定
×検討・調査の結果事業化は困難

モデル事業名	設置場所等 (プラン策定時の予定)	導入スケジュール								評価		R2までの進捗状況			
		H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	事務局案	部会				
① 用水等を利用したマイクロ水力発電設備等の設置	本多公園	実施設計 工事	稼働	→								→	→	H25 本多公園マイクロ水力発電整備完了	
	戸室新保埋立場	流量調査 周辺測量	再検討									×	×	H25 戸室新保埋立場流量調査完了 → △(水量不足) 埋立場跡地整備に合わせて再度検討予定	
② 既存水力発電施設の活用	新辰巳発電所	【新辰巳発電所】 工事・稼働			【上寺津】 出力増 検討			【上寺津】 事業者 決定	【上寺津発電所】 工事・稼働	◎	◎	H25～H26 新辰巳発電所 6,000kW→6,200kW H30～R2 上寺津発電所 16,200kW→16,500kW			
③ 林地残材混焼によるバイオマス発電の実施	西部環境エネルギーセンター	実施 開始	→								→	→	R2 西部環境エネルギーセンターでH31運搬分(300t)混焼		
④ 地産地消型ペレットボイラー等の導入	【ペレットストーブ】 市有施設	5施設 導入	4施設 導入	稼働	→								→	H28 ペレットストーブ導入なし ペレットボイラー1基導入(金沢プール 出力30kW) H29～R2 新規実績なし	
	【ペレットボイラー】 市有施設 (4年で2基、計4基)	導入施設 検討	設計 ・工事	工事	1施設 導入			導入施設 検討	目標 3基	△	△				
⑤ 防災拠点等への太陽光発電設備と蓄電池の設置	市有施設 (毎年1～2基 計12 基)	2基導入			3基導入	3基導入	戸室リサイ クルプラザ 修繕	導入施設 検討	目標 4基	△	△	H28 3施設に導入(金沢プール60kW、泉小10kW、 城東市民体育館10kW) H29～R2 新規実績なし			
⑥ 医療施設へのコージェネレーションシステムの導入	市立病院	導入検討		再検討									▲	▲	市立病院建て替え未定
⑦ 未利用地でのメガソーラーや風力発電設備等の設置	未利用地	民間設置 3箇所		民間設置 1箇所	民間設置 2箇所	稼働	→			民間設置 1箇所	◎	◎	角間町、釣部町、大場町、東長江町 等		
⑧ 既存ダムにおける水力発電の実施	平沢川砂防堰堤	事業者公 募 (石川県)	設計 ・工事	稼働	→								→	H27 平沢川砂防堰堤小水力発電(198kW)稼働 石川県	
⑨ 下水汚泥消化ガス発電の導入	城北水質管理センター	【城北】 工事	【城北】 稼働	→								→	H25 【城北】発電設備設置工事 H26 【城北】稼働		
	臨海水質管理センター					【臨海】 事業者 決定	【臨海】 工事	【臨海】 稼働	→			→	H29 【臨海】公募型プロポーザルの実施(発電容量360kW) H30 【臨海】発電設備設置工事 R1 【臨海】稼働		
⑩ 将来的なスマートシティの構築に向けたスマートタウンの整備	スマートタウン	【東金 沢】 支援	→				【太陽が丘】 区域認定 2戸認定	3戸認定	→			○	○	H29 ウッドパーク東金沢 補助金19件交付完了、コモンステージ太陽が丘 をスマートタウン整備区域に認定 ※スマートタウンは10棟契約毎に認定・支援。R2で制度終了。R2は11戸 に交付	
⑪ 多様なエネルギー源を組み合わせたエネルギーパークの整備	城北水質管理センター	基本計画	設計 ・工事	工事	稼働	→								→	H28 マイクロ水力発電(2kW)、風力発電(2kW)稼働
	未利用地(埋立場跡 地等)	基本構想 着手		再検討									▲	▲	H26 埋立場跡地利用基本構想着手 R3年度にBC谷の跡地 利用可能性調査を実施
⑫ 保育所等への市民発電所の設置	保育所等 (3年で3基)	2基導入			1基導入	稼働	→					→	→	H28～ 金沢市民発電所 3基稼働中	
⑬ 太陽熱や地中熱を利用した公共施設の設置	体育施設等	導入施設 検討			庁内ワー キング実 施	調査実施				クールレン ジ導入 (第二本庁 舎)	○	○	H28 再エネ導入等調査庁内ワーキングで検討 H29 地中熱や省エネ住宅の導入等調査を実施 R2 第二本庁舎にクールレンジ導入		

かなざわエコアート作品展示会の開催について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、かなざわエコフェスタ 2021 を中止とし、代替事業としてかなざわエコアート展を実施

1. かなざわエコフェスタ 2021 概要

日 時 令和3年9月12日（日）10：00～15：00

会 場 金沢駅東もてなしドーム地下広場

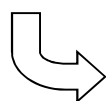


2. 開催中止の経緯

- ・ 新型コロナウイルス感染症の全国での急拡大状況。

（まん延防止等重点措置：8月2日～9月30日）

- ・ もてなしドーム地下広場は、県外からの通行者も多く、感染対策を万全にすることが困難。



**来場者・出展者の安全を考え、令和3年度かなざわエコフェスタ 2021 の開催を
中止とし、代替事業を実施**

かなざわエコアート作品展示会の開催について

3. 代替事業 「かなざわエコアート展示会 ～川柳・ポスター・ダンボールアート～」

【日程及び会場】 : 11/28(日) 表彰式 金沢未来のまち創造館
11/30(火)～12/6(月) 作品展示 第2本庁舎エントランス
(下記(4)のみ 12/1(水)～第1本庁舎新館 エントランスに展示)

【内 容】

(1) 「e～co と川柳大募集！」(表彰・展示)

- ・応募数 415 作品 (一般 345 作品、小学生 170 作品)
- ・入賞数 一般の部：最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点
小学生の部：最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点

(2) 「ごみを減らそう！ポスターコンクール」(表彰・展示)

- ・応募数 市内小学校 (24 校と 1 分校) から 140 点
- ・入賞数 低学年・中学年・高学年の部：最優秀各 1 点
優秀 10 点、佳作 12 点、入選 9 点

(3) 金沢美術工芸大学生制作 3 R アートの展示

(4) 金沢美術工芸大学生制作ゼロカーボンポスターの展示

【エコライフ開催講座内容】

① かなざわエコ森教室 実施団体：7団体

			
環境に関する ○×クイズ	地球温暖化に ついての紙芝居	エコじゃないことさがし	金沢産スギを使った ネームプレート作り

② 夏休み子ども向け 環境学習に関する動画及び環境図書展示

【展示場所】 泉野図書館 キッズスクエア

【展示期間】 令和3年8月11日～20日

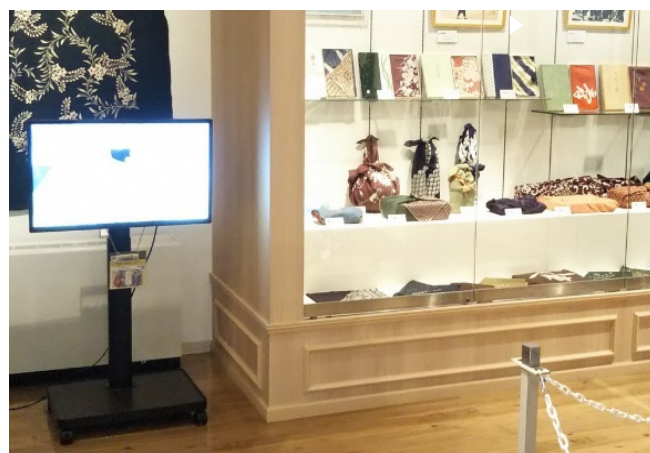
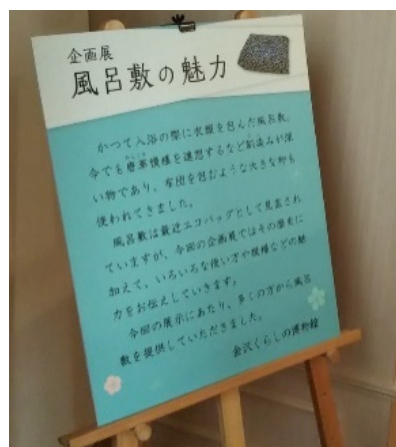


令和3年度啓発事業実施状況

③ 「風呂敷の魅力」企画展×風呂敷包み方動画による啓発

【展示場所】 ぐらしの博物館

【展示期間】 令和3年7月1日～8月6日 【来館者数】 334名



④ 市民向け環境学習講座

【対象】 各講座 市民 15～20名程度

【内容】 布ぞうり作り、穀物カイロ作り



令和3年度啓発事業実施状況

新

⑤ 気象キャスターと学ぼう！地球温暖化オンライン講座の配信

【対象】 小・中学生

【内容】 ①「2100年の金沢市の天気予報」
②温暖化の影響と適応策
③温暖化による大雨被害の現状

【利用方法】 市公式 Youtube・出前講座での活用



⑥ 環境出前講座の実施

講師派遣／職員派遣

テーマ：「地球温暖化の現状と対策」

「家庭からはじめようエコライフ」等



1. SNS による発信事業

(1) 目的

Twitter 等の SNS を用い地球温暖化防止に向けた情報発信を行うもので、また、本取組みの協力企業・団体が、ゼロカーボンシティかなざわの情報と共に自身の情報を発信するような仕組みを構築し、より広範囲への情報拡散をねらう。

ゼロカーボンシティかなざわ発信事業

(2) 事業概要

① 使用媒体

Twitter、Instagram、Facebook

② 投稿頻度

- ・ 最低週3回（月、水、金）
- ・ 各曜日毎におけるおおまかな投稿内容は以下のとおり

月曜日	ゼロカーボン実現に向けた金沢市の取り組み
水曜日	イベントや企業・団体の取り組み
金曜日	市民ができる取り組み

ゼロカーボンシティかなざわ発信事業

(3) 今後の事業について

～3月 協力企業・団体拡大のための取組強化

(随時) キャンペーンの実施

2. 金沢美大との発信事業 (金沢市⇔金沢美大)

- ・ 金沢美大生による職員向けのゼロカーボンプレゼンテーションを実施 (10/25)
- ・ 使用動画を SNS ページ等で公開
- ・ 美大側からロゴの提案あり



1. 金沢市地球温暖化対策推進協議会の体制及び開催回数について

区 分	主 な 内 容	開催回数
協 議 会	<ul style="list-style-type: none"> ◇事業の実施 ◇各部会の報告案件に対する全体協議 	<p>2回</p> <p>(5月、11月、)</p>
事業企画部会	<ul style="list-style-type: none"> ◇新規啓発事業や既存事業の見直しの提案 ◇普及啓発事業実施に向けた検討 ◇温暖化に適応するための施策の検討 	<p>1回</p> <p>(8月)</p>
計画推進部会	<ul style="list-style-type: none"> ◇金沢市地球温暖化対策実行計画の進行管理 ◇再生可能エネルギー導入等に関する調査研究 ◇地球温暖化対策実行計画の改定検討 	<p>4回</p> <p>(6月、9月、12月、2月)</p>

2. 実施事業案

(1) エコライフ推進事業

①小・中学生向け啓発教材の作成

②かなざわエコ森教室

③子ども・大人向け環境学習講座

2) かなざわエコフェスタ 2022 の開催

・会場だけでなく、家庭内に持ち帰って環境学習できるようなコンテンツを充実させる。